

ANNUAL Report

2023-2024

2023年度 活動レポート



世界YMCA Vision 2030



各地で頻発する紛争、気候変動、貧困問題など、世界規模の課題が山積する中で世界のYMCAは2022年夏、「世界YMCA Vision2030」を採択しました。下記の「4つの柱」で構成されるこのビジョンは、国連の持続可能な開発目標「SDGs」とも連動した行動目標で、YMCAのグローバル・ネットワークを活用し、世界の課題を解決していくことを目指しています。



01 コミュニティー ウェルビーイング

ポストコロナの時代にすべての人が、個人と集団のウェルビーイングを大切にしながら精神、知性、身体
のバランスの取れた成長ができることを目指す。



02 やりがいのある仕事と雇用環境の創造

すべての若者が価値のある有意義な仕事に従事し持続可能な生活を築けるよう、公正かつ公平な教育、
雇用、トレーニングの機会を創出し提供していく。



03 持続可能な地球のために

気候変動に対する若者の高い危機意識と積極的な発言から、若者主導による持続可能な地球のための
解決策を推進し、気候変動に取り組む運動体になることを目指す。



04 公正な世界の実現のために

正義、平和、公正を求め、すべての人の人権を守ろうと努める若者やコミュニティーと共に歩む。組織的な差別、
不公平、不正などあらゆる種類の人種差別の課題においてグローバルな発信者となることを目指す。

YMCAブランド コンセプト

Vision

YMCAが実現したい世の中の姿

互いを認め合い、高め合う

「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。

Positive Net

互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、
善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。

Value

YMCAがステークホルダーに提供を約束する価値

したい何かがみつき、誰かとつながる。

私ができる、かけがえのない場所。

みつかる つながる よくなる
Encounter Connect Transform

Personality

～ YMCAが備えているべき個性・らしさ～

心をひらき、わかち合う。

前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ。

Open & Sharing. Proactive & Attractive

ごあいさつ



神戸YMCA 会長
中道 基夫



神戸YMCA 総主事
井上 真二

私たちを取り巻く世界は気候変動や新型コロナウイルスの流行、戦争やエネルギー問題、予想以上の少子化などの課題が山積し、また先行きが不透明です。このような状況にあって、世界YMCAのビジョンを踏まえ、神戸YMCA中期計画VISION2030を策定し、「私たちの使命」、「私たちの願い」、そして「使命実現のための柱」を基に策定した3カ年計画の2年目となります。また、2025年1月17日は阪神淡路大震災から丸30年となります。この節目の時に歴史に学び、備えをし、ポジティブネットのある豊かな社会を創るため、事業や運動の再興を図っていきます。地域の課題は世界の課題と密接につながっていること、世界から神戸へ、そして神戸から世界へとつながっていることを感じながら、神戸YMCAに連なるすべての人が一つとなることを目指します。

2024年度も皆様のご支援、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

YMCAのロゴマークに込める思い



YMCAの正章

YMCAは1844年にロンドンで設立されました。シンボルマークの正三角形は、YMCAの人間観であるSpirit（精神）Mind（知性）Body（身体）の調和がとれた「全人としての成長」への願いを表しています。また、中央にJOHN17:21（ヨハネによる福音書17章21節）「すべての人を一つにしてください」と記されており、国、民族、宗教、性別の隔たりを超えた、共に生きる社会を作り出すことへの願いが示されています。



日本のYMCAのロゴマーク 「ポジティブY」

鳥が飛び立つ瞬間の姿をモチーフに、生命の息吹、未来へ向かう力、平和への想いを表現。アルファベットのYをかたどりながら、新しいスローガン「みつかる。つながる。よくなっていく。」の3つの価値と、正章に示された「精神、知性、身体」を内包する構成になっています。

神戸YMCA2024年度年間聖句

「平和を造る人々は、幸いである。」

[マタイによる福音書5章9節（聖書協会共同訳）より]

神戸YMCA中期計画 VISION2030

<私たちの使命>

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創ります。

<私たちの願い>

私たちは、世代を超えた人々が出会い、つながり合う場をつくり、日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。

<使命実現のための柱>

- ◆未来を創る子どもたちの育ちを支えます。
- ◆若者のつながりと関わりを拓けるプラットフォームの場をともに創ります。
- ◆ポジティブネットのある豊かな社会を目指します。
- ◆未来の社会への責任を担います。

こべっこあそびひろば西神中央オープン

神戸YMCA福祉会は、西区の西神中央地域の「おやくふらっとひろば西」に続き、神戸市の委託を受け、5月から「こべっこあそびひろば西神中央」の運営を開始しました。

「こべっこあそびひろば」は神戸市が開設する子育て支援施設で、0～6歳の未就学児が保護者と一緒に遊べる場として、また、子育て世代の交流および情報発信の場として整備されています。北区の「こべっこあそびひろば岡場」、東灘区の「こべっこあそびひろば六甲アイランド」に続く3カ所目となる施設で、5月15日（月）からスタートしたにもかかわらず、5月だけで延べ3,300名の利用がありました。

5月28日（日）には、10,000ピース以上の木製積み木「カプラ」を使った特別プログラム「カプラで遊ぼう」を実施しました。積み木の性質上、3歳以上の幼児と保護者が対象となりましたが、多くの皆さまにカプラの遊び方、楽しさを知っていただきました。最終的にはカプラでひとつの街が出来上がり、大盛況のうちに終了しました。

今後、神戸YMCAが運営する施設として、子育て世代の方々のさまざまな出会いと交流の場として、認知されることを願っています。



仲間と過ごすクリスマス

浜脇留守家庭児童育成センターでは、毎年クリスマス会で、子どもたちがハンドベルや漫才、劇、空手など、得意とすること、挑戦してみたいことを発表する場を設けています。10月から何をどのようにするのか話し合いを始め、子どもたちの意見を尊重し、できることを模索しながら準備を進めています。

1年生から3年生の子どもたちが出し物を選んでグループを作るので、仲のいい子もいれば、まったく関わりのなかった子がいる場合もあります。意見の食い違いや、ケンカにまで発展することも多々ありますが、そのようなやりとりの中で相手を知り、違いを知り、折り合いをつけながら創り上げていきます。「大変だったけど、仲間と一緒に練習したから楽しかった」という声が増えてほしいと思います。

ある日「あと15日寝るとクリスマス会だ」と、ワクワクした顔で会話している瞬間に出会いました。私たちがまだ子どもだった頃、誕生日を、お正月を、そしてクリスマスを楽しみにしていたように、クリスマス行事の中で居場所を感じ、仲間と過ごす楽しさを感じられるように願っています。



年長児余島キャンプ

8月26日（土）～28日（月）に、幼稚園の年長児は余島キャンプ場へ行ってきました。コロナの影響により実施できない年が続きましたが、4年ぶりの実施となり、みんなが待ちに待ったキャンプでした。期待やうれしさの半面、ひさびさのキャンプで、かなり緊張感を持って準備を進めてきたのも正直なところですが。

さて、キャンプ当日。いざ余島に到着すると、そんな私たちの心配は吹き飛びました。そこには、虫を追いかけ、カヌーに乗り、海に飛び込むといった全力で遊ぶ子どもたちの姿、いつもと変わらない余島がありました。電気もないキャンピンでの生活でしたが、子どもたちの順応性の高さに感心し、たくましさを感じた3日間となりました。

解散時、大きな声でキャンプソングを歌いながら満面の笑顔で幼稚園に戻ってきた子どもたち。その姿を見た保護者の皆さまも、とても良い表情をされていました。キャンプは子どもも親もたくましく成長させてくれます。そんなキャンプを、これからも続けていきたいと思えます。



2023年度のあゆみ | 2. 若者の繋がりと関わりを拡げる プラットフォームの場をともに創ります。

高校生と一緒につくるライブ

「ライブがしたい!!!」という高校生たちの夢が叶った日。8月10日(木)、あかしこども広場AKASHIユーススペース(通称:ユースペ)で、約4年ぶりとなるライブイベント「ROCKIN' YOUTH FESTIVAL ~re:summer~」を開催しました。

今回のイベントを実施するにあたり、企画や広報、当日の運営まで、すべて高校生が主体となり、3ヶ月もの期間をかけて一から作りあげました。イベント名の「re:summer」も、もちろん高校生の考案。「resume(再開)」「summer(夏)」という2つの単語を掛け合わせたもので、「ライブを再開し、みんなでこの夏を楽しもう!」というメッセージが込められています。メッセージの通り、「自分たちが楽しむだけでなく、ライブを観に来てくれる人たちにも楽しんでもらえるように」と準備する姿が印象的でした。

当日は、100名以上の方が来てくださいました。ライブは最後まで盛り上がり、終了後の、達成感に満ちたみんなの表情は今でも忘れられません。これからも、中高生の「やってみたい!」を全力でサポートできるユースペでありたいと思います。



国際交流プログラム ~スウェーデンより来神~

5月20日(土)~29日(月)、スウェーデンのヘルシオンフォルケボイスコーレ(18歳以上が通える教育機関)から、日本語クラスの受講生11名と引率者3名が来日しました。2020年の予定がようやく実現したもので、滞在中は観光や文化体験などさまざまなプログラムが行われました。

交流会では、ある出来事で一気に距離が縮まりました。それはお菓子交換でした。スウェーデンの「リコリス」という黒いグミは、世界一まずいグミとも言われます。「食べてみないとわからないわよ!」と誘われた学生は「まずい!」と言いつつ笑顔を作り、その様子にみんなで大笑い。積極的なコミュニケーションで共通の話題は見つかりますが、目の前の出来事は瞬時に私たちをつなぎます。コロナ禍により、さまざまな体験を失っていたことに気づかされた瞬間でした。日本に来てわかる空気、外国人とかかわることで身近に感じる文化。海外との交流がさらに活発になることを楽しみにしています。



第21回 アジア・太平洋YMCA同盟大会

9月13日(水)から20日(水)、「第21回アジア・太平洋YMCA同盟大会」がインドのチェンナイ(旧マドラス)にて「回復力のあるコミュニティとしてともに歩む—Vision2030を通しての生き方の変革—」をテーマに開催されました。大会に先立ち「ユース・アッセンブリー」と「ジェンダー平等フォーラム」も開催され、21の国と地域から344名(うち日本は45名)が参加しました。

ユース・アッセンブリーでは、アジア各国のユースリーダーやスタッフが集い、YMCAでの課題や活動、YMCA運動の推進に関して話し合いが持たれました。COVID-19により人的交流が制限された私たちに対して、国際的に協力していくためにはそれぞれのストーリーを共有し、顔を合わせて会話をしていくことが必要であると強調されました。同じユース世代の想いに刺激を受け、他国の現状を知ることで、改めて日本が置かれている状況や課題を考える機会になりました。グローバルなYMCAとしてのミッションとローカルな活動の可能性について考えていきたいです。



第9回 日中韓YMCA平和フォーラム

「第9回日中韓YMCA平和フォーラム」が2月1日(木)から4日(日)まで中国・上海で行われました。韓国17名、中国23名、日本19名のユースとシニア、計59名が集まりました。

魯迅(Lu Xun)とゆかりの深い内山書店址や魯迅記念館、大韓民国臨時政府旧址などを訪れ、日中韓の歴史を学ぶ機会を得ました。また、フォーラムではそれぞれの国のYMCAの思いや考え方、自国の中でのYMCAの立ち位置などに違いがあり、さまざまな思いや意見が交錯する場面もありました。ユース世代の平和についての話し合いも、2カ国よりも3カ国間ならではの難しさ、複雑さを感じました。ただ、3カ国で話し合いをしていくからこそ意味があり、このフォーラムが2カ国ではなく3カ国で行われることこそが、平和を創っていくひとつの方法であると思いました。これからも多くの仲間たちと関わり、互いを尊重することを忘れず日中韓の交流を続け、平和な社会の実現を目指し、歩んでいきたいと思っています。



図書のご寄贈をいただきました

太山寺児童館では、企業の方から寄附や寄贈品をいただくことがあります。9月の初旬に、日本イーライリリー株式会社様から図書をご寄贈いただきました。同社は社会課題のひとつである「ヤングケアラー」の問題にも取り組んでおられ、啓発活動(気づきや学びのきっかけ)になればと、絵本や漫画など、こどもたちが読みやすいものを選んで、本棚やポップと共に寄贈くださいました。

設置に気づいたこどもたちは、さっそく手に取り読みはじめ、日を追うごとにその人数も増えていきました。こどもたちの年齢はさまざまですが、みな真剣な眼差しで読み進めていました。また、保護者の方々の目にもとまり、お子さんを見守りつつ本に目を通されている姿もありました。児童館にお越しの際には、ぜひ手に取ってご覧ください。

このような活動が広まり、その課題で苦しむ方々が救われるように、児童館もその一助になればと思っています。



神戸YMCAと神戸讃歌～これからもずっと歩いてゆこう～「YYYフォーラム」

昨年、関西を盛り上げたトピックスのひとつが、Jリーグヴィッセル神戸の初優勝でした。チームの始動日は1995年1月17日。阪神・淡路大震災のその日でした。(サポーターが作詞した「神戸讃歌」という応援歌があります。ぜひ聞いてみてください。)

「YMCAの未来のために」をテーマにした今回のYYYフォーラムでは、①その阪神・淡路大震災から来年で30年ということで「今ならどんな炊き出しをしますか?～あの日から29年～」、②「『絶望』の反対語は『ユーモア』だ」という宇多田ヒカルの発言から構想を得た「ムービーを作ろう!～絶望の反対はユーモア～」、③YMCAとの未来を考える「手紙を書こう!～拝啓10年後のYMCAへ～」と、3つのグループに分かれて話し合いました。

①炊き出しグループは、能登半島地震の発生を受けて、現地のY'sの方とリアルタイムで繋がり、神戸YMCAだからこそできることを模索。②ムービーグループは高校生のユースに教えを請い、ユーモアあるムービーの撮影編集。③手紙グループは10年後に想いを馳せて手紙を作成。10年後の開封が楽しみです。



次世代運営会議

COVID-19はさまざまな脅威をもたらしましたが、非常時の思考は研ぎ澄まされ、今となっては福音とも言える出来事がいくつもありました。その内の一つが2020年から始まった次世代運営会議です。

管理職ではない、現場を守る、いわゆるディレクターが集い、「自分たちが運営の責任を担う立場であれば」という視座に立って議論します。これまで気候変動、ジェンダー、貧困など、YMCAの使命と社会との接点に留まり、議論してきました。

2年間続けた今でこそ、活発な議論が交わされますが、初めはそうではありませんでした。ではどんな条件を整えばいいのか？まず会議に何か答えめいたものや知識の獲得を求める構成員に、議論そのものが重要であることを伝えます。議論を通じて「知識を社会化する」ことが、公共性を帯びた営みなのです。

次に、上位職はファシリテーターを除き参加せず、記録によって内容を確認してもらうことで公平性と透明性を保ちます。「予期」によって成り立つ組織集団の営みの中では、いくら自由にしていいと言われても、権力関係が自動的に働くので（地位附従性）、よほど意図的に振る舞わない限り自由ではないからです。

しかし、単に議論を野放しにしても何も生まれません。そこで私たちはイエスに立ち返ります。史的イエス論によれば、イエスはユダヤ教徒でありながら、敬虔なユダヤ教徒を批判しました。さまざまな事情で、律法を守ることすらできない人々のことを想ったからです。

イエスは常に「本当にこれでいいのか？」と問い続けました。いつでも存在の根源に立ち返り、個人の中に、関係性の中に、そして構築された秩序の中に、イエスの力が働き続けるときにこそ、時が経つのも忘れるような熱い議論が交わされるのです。

ユースプラザ夏まつり

8月27日（日）、地域の皆さんが集う場、中高生がいきいきと活躍し存分に力を発揮できる場として「ユースプラザ夏まつり」を開催しました。地域の皆さんと一緒に大きなイベントを実施するのは数年ぶりでした。

今回の「ユースプラザ夏まつり」は、企画から当日の飲食・ゲームコーナーの運営まで、中高生ボランティアが主体となって行いました。「小さな子どもたちが笑顔になるにはどう接したらいいか考えて行動した結果、“ありがとう”と言ってもらえた」と、自分のことだけでなく相手のことを考え、喜びを実感する姿がとても印象的でした。子どもたちは、わたがし器の前で、わたがしができるのをまだかまだかと待っていたり、ゲームコーナーの景品でもらったたくさんのお菓子を机に広げたりと楽しんでいました。

当日は160名以上の地域の皆さんにご来場いただき、大盛況でした。中高生が存分に力を発揮した成果でした。これからもユースプラザK O B E ・ E A S Tは中高生の活躍の場、周辺地域の方々が集う場を創っていきたいと思っています。



全国YMCAウエルネス担当者研修会

11月28日（火）、29日（水）の2日間、YMCA 東山荘（静岡県御殿場市）にて、全国YMCAウエルネス担当者研修会が実施されました。日本全国のYMCAでウエルネス（健康教育）事業を担当するスタッフ51名が集い、交わりの時を持ちました。YMCA指導者養成カリキュラムの見直しに取り組んだほか、今の社会の特徴とその背景を捉え、これからの社会と人について語り合いました。ウエルネス事業は、プログラムを通して、人が「より良く生きる」ことを目指しています。その出発点から、さまざまなプログラムが実施されます。だからこそ、指導者（リーダー）は十分にそれを理解し、子どもたちや成人の方、一人ひとりに合った指導をすることが重要です。基本となることを繰り返し確認し、見直していくことで、YMCAウエルネスの指導者養成を、これからも進めていきます。

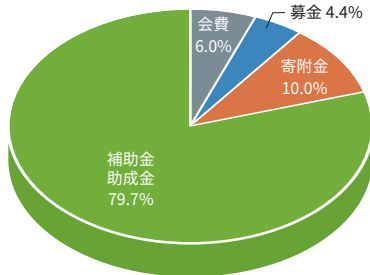
今回は全国の指導者が集い、つながる場となりました。そのつながりを広げ、太くすることで、人が「より良く生きる」社会を目指していきたいと思っています。



2023年度 神戸YMCAファンドレイジング報告

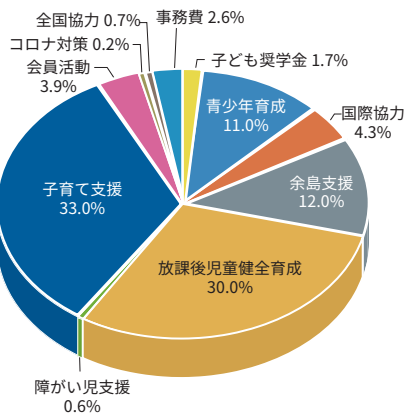
神戸YMCの使命である「すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創る」という活動は、広く社会から手を差し伸べてくださる方々の会費や募金・寄附、補助金・協賛金などによって支えられています。

2023年度収入の部



	金額	内 訳
会 費	6,280,000	維持会費 賛助会費
募 金	4,624,517	国際協力募金 災害支援募金(ミャンマーYMCA支援、ウクライナ支援)
寄 附 金	10,454,553	子ども奨学金のために(個人寄附他) 青少年育成のために(ワイズメンズクラブ他) プログラム・地域支援のために(日本語スピーチコンテスト、LD教育支援他) 余島支援のために(よしましよ他) 神戸YMCA運動のために(個人寄附、株式会社上組他)
補 助 金 助 成 金	83,624,241	私立専修学校専門課程振興費補助金・授業料等減免補助事業補助金(兵庫県) 原油価格・物価高騰対策一時支援金(兵庫県・神戸市・西宮市) ユースプラザKOBÉ・EAST運営補助金(神戸市) 放課後児童健全育成事業補助金(神戸市) 一時保育事業運営費補助金(神戸市) 小規模保育ルーム関連補助金(神戸市) 障害児通所支援における子どもの安心・安全対策支援補助金(神戸市) 地域型学習支援事業補助金(神戸市) コロナウイルス感染症対策関連補助金(神戸市・西宮市・明石市) Challenged Children Program 助成金(日本YMCA同盟) 狂言助成金(兵庫県国際交流協会) 余島キャンプ助成金(サントリーHD)
総 額	104,983,311	

2023年度支出の部



	金額	内 訳
子 ども 奨 学 金	1,847,974	経済的な理由でYMCAプログラムに参加が困難な子どもたちのために
青少年育成	11,841,516	ボランティアリーダー育成・派遣のために 指導者養成のために 神戸YMCA学院専門学校で学ぶ青年のために(学生支援・奨学金)
国 際 協 力	4,624,517	国際協力活動のために(東南アジア農村支援、国際活動リーダーシップ養成他) 災害支援のために(ウクライナ支援、トルコシリア支援他)
余 島 支 援	12,910,345	プログラム支援のために(one camp他) 余島プロジェクト(サントリーホールディングス株式会社との協働) 余島環境整備のために 他
放課後児童 健 全 育 成	32,315,672	放課後の子どもたちの居場所作りのために
障 が い 児 支 援	644,780	障がいのある子どもたちのために
子 育 て 支 援	35,436,976	地域の子育て支援のために(小規模保育ルーム等の運営)
会 員 活 動	4,173,188	神戸YMCA会員活動のために(YMCA大会、理事会、評議員会、常議員会、各委員会の開催、チャリティープログラムの開催、フォーラムの開催、神戸青年発行 他)
コ ロ ナ 対 策	246,537	新型コロナウイルス感染症への対応のために(感染症拡大防止対策 他)
全 国 協 力	755,400	YMCA全国協力のために
事 務 費	2,748,984	通信費、郵送費、印刷費、広報費等
総 額	107,545,889	

2023年度 ファンドレイジング報告

2023年度中に頂いた会費や募金・寄附金により、実施できたことの一部をご報告します。

国際奨学金 受給者からの声

この度は、神戸YMCA国際奨学金をくださって本当にありがとうございます。奨学金をもらえたので学費は家族に頼らず払うことができました。そして、アルバイトの時間を減らすこともできたので、勉強に集中したり、YMCAの色々な活動に参加したりすることができました。

日本に来て初めて参加したボランティアは香櫨園小学校の放課後キッズルームでの活動でした。国の紹介をしたり、子どもと一緒に遊んだりしてとても楽しかったです。その後、松蔭おかもと保育園にも訪問し、国や料理、遊びなどを子どもたちに紹介しました。また、新入生のお手伝いや地域の交流会などにも参加できました。

2024年4月以降も神戸YMCA学院専門学校で日本語の勉強を続けています。2025年に大学に進学したいので、そのために日本留学試験の準備をしたいです。

これからも色々な活動に参加してもっと頑張ろうと思います。
(在校生Nさん)

まずは、奨学金を受け取ること感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。この奨学金によってアルバイトの時間を減らし、学校での学習に専念することができました。これにより、YMCAでしている土曜日の日本語能力試験対策クラスにも参加することができ、更に充実した学習を続けることができました。心から感謝の気持ちをお伝えすると同時に、これからも一生懸命勉強に打ち込むことを約束いたします。YMCAの先生方に教えられた貴重な知識や経験を活かし、理想の未来を作り上げるために努力し続けます。改めて心からの感謝の意を込めて御礼の言葉をお伝えします。

YMCAでは、新入生のお手伝いをしたり、国際協力募金の街頭募金活動、秋まつりでミャンマーの伝統衣装や食べ物を紹介したり、日本とミャンマーの違いについて話しをしたりしました。日本で家族と離れて暮らすさみしさを感じたり、親を思い出したりしますが、YMCAで色々なイベントに参加してから楽しくなりました。いろいろな人たちに会ってその人たちと交流して自分の寂しさなども解消できるようになりました。

2024年4月からは大阪の摂南大学に進学します。国際学科で英語と中国語を学んで新しい知識とスキルを身につけて、日本語だけではなく英語との言語力を高めていきたいです。今は、ミャンマーを含め、世界のいろんな場所で戦争が起こっていますが、大学卒業後は、4つの言語を使って困っている人たちに会って助けたいです。
(卒業生Kさん)



子ども奨学金 受給者の声

この度は助成していただきありがとうございました。昨年カヌーキャンプに参加させていただき、今年も絶対カヌーキャンプに行きたいと本人が熱望し申し込み致しました。昨年学んだことや、してもらって嬉しかったことを、今年初めてカヌーキャンプに参加する人たちにしたいと意気込んで出発しました。帰ってくると、「スキッパーという役割に選ばれなくて悔しかった。来年は絶対にスキッパーになりたい」と、自ら話し始め、自分自身を見つめなおしていました。優しさについて考えたこと、仲間と旅をする楽しさとしんどさ、次の旅では自分は何ができるかということ。大きくなって帰ってきた娘を見て嬉しく思いました。学んだことを忘れずに、更に大きく成長してほしいです。皆様、本当にありがとうございました。

(余島カヌートリップキャンプ参加メンバー保護者)

私が小学校のときに経験させてもらった余島キャンプでの素晴らしい自然の中での生活を息子にも存分に味わってもらえることが出来てとても嬉しいです。真っ黒に日焼けしてたくましくなって帰ってきました。余島キャンプだからこそできる経験が彼にも刻まれたと思います。本当にありがとうございました。

(余島長期少年キャンプ参加メンバー保護者)

維持会員 入会のご案内

神戸YMCAは「私たちの使命」に基づき、世界や地域の抱える多様な社会的課題を解決するため、幅広い活動を展開しています。その活動を支えるのが維持会員です。維持会員はYMCA運動を支える母体として重要な役割を担っています。共に生きる平和な世界を実現するために、一人でも多くの仲間が必要です。ぜひYMCAの活動を維持会員として支えてください。

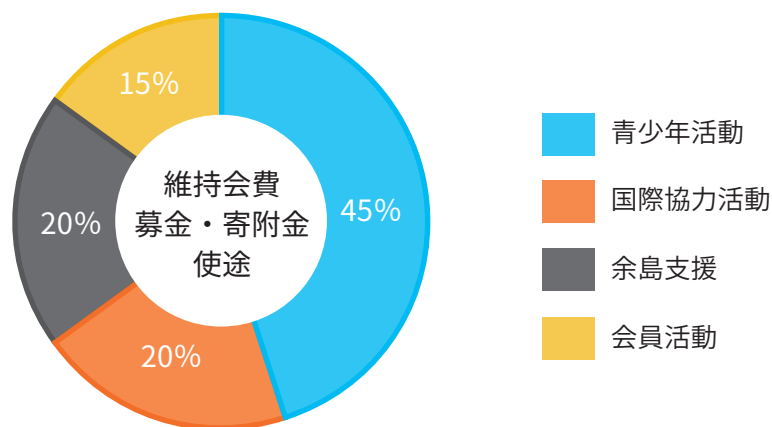
維持会員になっていただく

- ・維持会費を通じて、神戸YMCAが行う青少年の育成や国際協力、地域奉仕活動を支援することができます。
- ・機関紙「TheYMCA」・「神戸YMCA YMCA News (神戸青年)」で、YMCAの活動やプログラムなどの情報をお知らせします。
- ・毎年開催する「神戸YMCA大会」など、神戸YMCAが主催するイベントにご参加いただけます。

入会方法

YMCAの活動に賛同してくださる方であれば、どなたでもご入会いただけます。

- ・維持会費 (年度毎4月～翌年3月)
 - 一口 5,000円
 - ◆ご支援いただける口数をお決めください。
 - ◆口数により維持会員としての条件が変わることはありません。
 - ◆神戸YMCA会員としての会費は寄附金扱いとなり、税制上の優遇措置を受けることができます。所得控除と税額控除のどちらか有利な方を選択することができますが、控除を受ける為の手続きとして確定申告が必要です。詳細は税務署にご確認ください。
- ・維持会費の使途
皆さまからいただいた維持会費、募金・寄附金は次の使途に用いられます。
 - ◆青少年活動 学生支援や奨学金など青少年育成、子ども奨学金、障がい児支援、など。
 - ◆国際協力活動 紛争・災害への支援活動、国際活動リーダーシップ養成、など。
 - ◆余島支援 余島キャンプ場で行うプログラム支援、ボランティアリーダー育成、環境整備費用、など。
 - ◆会員活動 チャリティープログラム、セミナー、会員による会議などの費用、など。



●お問い合わせ

メール kaiin@kobeymca.org

本部事務局 (078-241-7201) または各YMCA (P15各拠点案内) まで、お問い合わせください。

YMCAと共に歩む国際奉仕クラブ「ワイズメンズクラブ」

<ワイズメンズクラブとは>

ワイズメンズクラブ国際協会は1922年に設立されました。2023年8月の報告では、76カ国に約1500のクラブがあり、約2万3千人の会員がいます。日本では、1932年に日本区が設立され、1997年に東日本区と西日本区に分かれました。神戸YMCAに連なる六甲部7クラブは西日本区に属していますが、2024年1月現在、西日本区は74クラブ、1306人、六甲部には神戸、西宮、神戸西、神戸ポート、宝塚、学園都市、芦屋の7クラブがあり122人の会員がいます。

<YMCA支援>

ワイズメンズクラブはYMCAを様々な形で支援しています。

三宮会館での秋まつりでは神戸、神戸ポート、西宮YMCAこどもカーニバルでは西宮、西神戸YMCAでのわいわい祭りでは神戸学園都市の各クラブが参加しました。このほか、芦屋クラブは留学生交流会を開いています。

第25回神戸YMCAインターナショナルチャリティランでは、宝塚クラブが仮装しての参加で会場を盛り上げました。国際協力街頭募金へも街頭に立って協力しています。このほか、ユースリーダー研修、神戸YMCA/コミュニケーション学院日本語スピーチコンテスト等ユースの育ちを支援金の形ですが六甲部をあげて支援しています。昨年度から始めたYMCA関連児童施設に絵本をプレゼントする「絵本プロジェクト」は今期も継続できました。

<地域奉仕>

ワイズメンズクラブは、YMCAへの支援だけでなく、それぞれのクラブが独自に地域との関わりを持っています。

神戸、神戸西クラブはシングルマザーを支援するNPOを応援しています。高齢者、障がい者、児童支援の団体への支援も、それぞれのクラブが地域とのつながりの中で続けています。地域との関わりでは、市民クリスマスの企画運営に宝塚クラブは長年携わってきました。神戸学園都市クラブでは地域の自治会とともに清掃活動に参加しています。

このほか、自然災害、紛争などの被災者への支援もYMCAを通して、あるいは直接に様々な形で続けています。
(ここで示した活動はほんの一部であり、網羅したものでないことをお断りしておきます。)

<YYYフォーラム>

YMCA、ユースリーダー、ワイズの懇親と相互理解、YMCAの活動理解にむけて、YYYフォーラムをYMCA会員、ユースリーダー、YMCAスタッフそしてワイズの協働で行いました。2023年度は第1回「市ヶ原わいわいハイキング」、第2回「YMCAの未来のために」。野外、屋内と色合いの違う二つのプログラムでしたが、それぞれに良いひとときを過ごせました。この時間が、YMCA、ユース、ワイズの協働が一層深まることを願います。

神戸YMCA賛助会

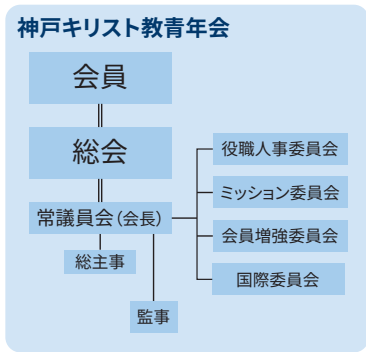
(敬称略・順不同)

神戸YMCA賛助会は、神戸YMCAが推進する青少年育成事業を財政的・精神的に支えてくださる多くの法人や団体で構成されています。多方面にわたるご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

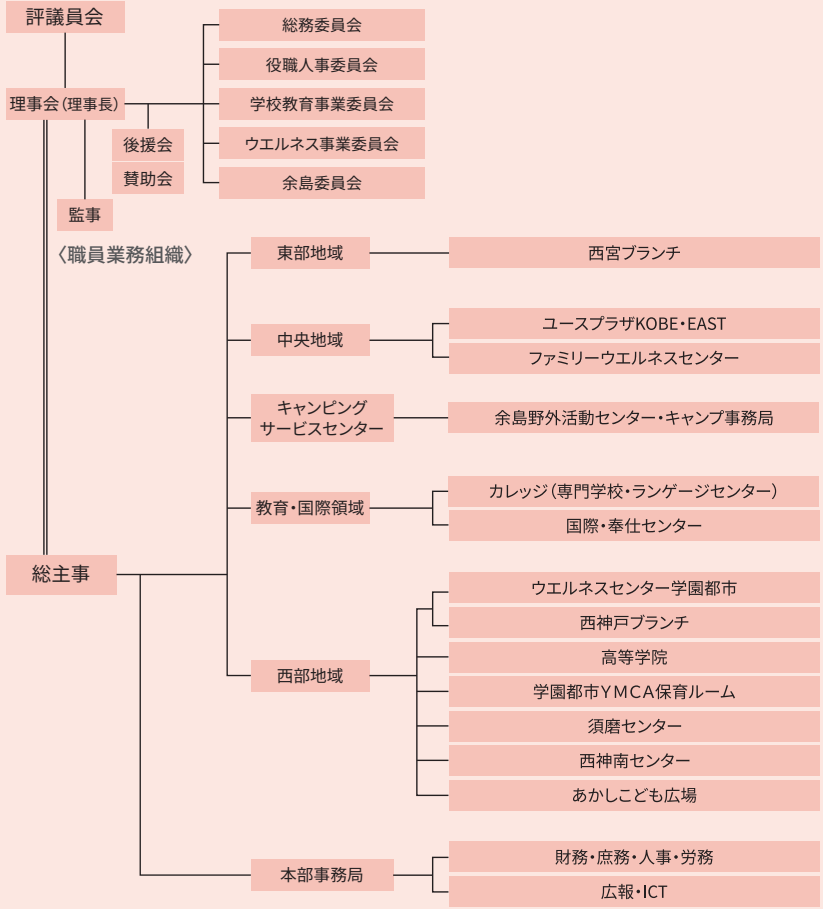
田中工業株式会社
株式会社竹中工務店神戸支店
有限会社クレセントインターナショナル
白鶴酒造株式会社
兵庫トヨタ自動車株式会社
生活協同組合コープこうべ
損害保険ジャパン株式会社
社会福祉法人光朔会オリンピア
有限会社わかばやし印刷
不二熱学サービス株式会社
神戸キリスト教書店

エム・シーシー食品株式会社
株式会社神戸ポートピアホテル
菱三印刷株式会社
第一電子株式会社
株式会社イースター式典社
株式会社サンビルダー
神戸信用金庫
株式会社エーアンドディー設計企画
村田建設株式会社
株式会社みなと銀行
小倉サンダイン株式会社

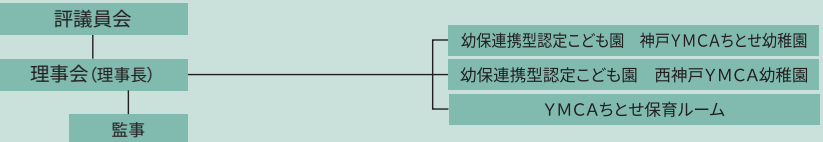
株式会社ホテルニューアワジ
株式会社ドコモCS関西神戸支店
早駒運輸株式会社
株式会社夢舞台
株式会社長谷工シニアウェルデザイン
株式会社大林組神戸支店
大林ファンリティアーズ株式会社
総合警備保障株式会社
JTB神戸支店



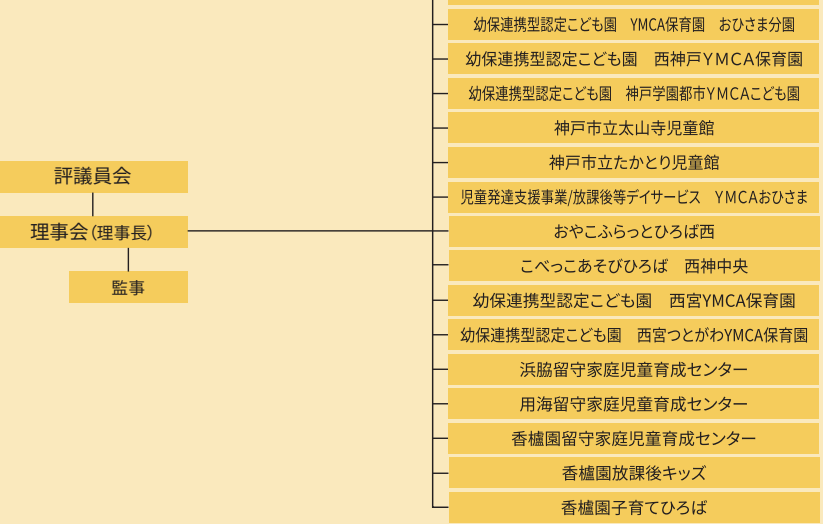
公益財団法人 神戸YMCA



学校法人 神戸YMCA学園



社会福祉法人 神戸YMCA福祉会



A. 公益財団法人 神戸YMCA会員状況

1) 会員種別 (2023年度)

維持会員 (うち総会構成員)	781 426
-------------------	------------

2) プログラム参加者数

18歳未満	5,050
18歳以上	1,104
合計	6,154

3) 賛助会

賛助会	31
-----	----

4) 役員・指導者・職員

●役員 (2023年度)

公益財団法人理事	10
公益財団法人監事	2
公益財団法人評議員	13
名誉理事	2
学校法人理事	8
学校法人監事	2
学校法人評議員	17
社会福祉法人理事	6
社会福祉法人監事	2
社会福祉法人評議員	10
キリスト教青年会常議員	25
キリスト教青年会監事	3
事業委員	66
合計	166

●職員 (2023年度)

主事職	20
事務職	5
講師職	8
一般職	1
嘱託	7
嘱託専任講師	11
嘱託準専任講師	26
合計	78

(出向者除く)

B. 学校法人 神戸YMCA学園在籍者数

(2023年度)

ちとせ幼稚園	132
YMCAちとせ保育ルーム	13
西神戸YMCA幼稚園	226

●職員

主事職	4
事務職	3
一般職	0
保育教諭	23
嘱託教諭	22
嘱託職員	2
合計	54

C. 社会福祉法人 神戸YMCA福祉会在籍者数

(2023年度)

YMCA保育園	160
西神戸YMCA保育園	81
神戸学園都市YMCAこども園	94
西宮YMCA保育園	69
西宮つとがわYMCA保育園	72
太山寺児童館・小寺コーナー	146
たかとり児童館	68
YMCAおひさま	63
用海留守家庭児童育成センター	127
浜脇留守家庭児童育成センター	116
香櫨園留守家庭児童育成センター	193

●職員

主事職	15
事務職	3
一般職	7
保育教諭・栄養士	106
嘱託	31
合計	162

レイパーソン (ボランティア役員)

(2024年4月1日現在)

■神戸キリスト教青年会

会 長	中道 基夫								
副 会 長	清水 泰人								
常 議 員	赤木 敏之	家山 華子	石井 恭子	井上 真二					
	岩井 義矢	鵜丹谷 剛	植村 篤子	小澤 昌甲					
	川崎 孝子	坂本 滋	末岡 成夫	長井 慎吾					
	西田 勉	馬場 一郎	馬場 貴英	東 恭子					
	秀平 悠磨	藤田 裕	前田 隆	松田 道子					
	美崎 晋	吉田 昌義							
監 事	上杉 徹	藤井 久子	安行 英文						
ミッション委員	畑田 直文(副)	有友裕美子	片岡 正義	西本 玲子					
	原 真和	寺崎 真	村田奈緒美						
会員増強委員	秀平 悠磨(副)	石井 恭子	上杉 徹	大野 勉					
	河野 彰	須貝 春香	美崎 晋						
国際委員	東 恭子(副)	坂西 卓郎	高月 渚	四宮 捷平					
	中尾 秀一	廣瀬 献児	細見 佑子	山内 慎平					
	Ronni Alexander								
役員人事委員	中道 基夫	清水 泰人	井出 浩	川崎 孝子					
	馬場 一郎	吉田 昌義	井上 真二	小澤 昌甲					
	西田 勉	松田 道子	岩井 義矢	谷川 尚					

ウエルネス事業委員

	高見 彰(副)	小野 昌二	進藤 啓介	白坂 大輔
	船越 達也	矢野 琢也		
余島委員	川島 恵美(副)	荒木 真一	猪飼 政昭	鵜丹谷 剛
	小栗 献	川島 憲志	島田 恒	坪松 博之
	馬場 貴英			
役員人事委員	中道 基夫	清水 泰人	井出 浩	川崎 孝子
	馬場 一郎	吉田 昌義	井上 真二	小澤 昌甲
	西田 勉	松田 道子	岩井 義矢	谷川 尚
総務委員	中道 基夫	清水 泰人	進藤 啓介	井上 真二

■学校法人 神戸YMCA学園

理 事 長	井上 真二				
常務理事	岩井 義矢				
理 事	上杉 徹	熊谷 親啓	鈴木 光子	原 寛	
	藤井 久子	山田 浩介			
監 事	森 章一	中村 豊			
評 議 員	熱田 大輔	井上 真二	岩井 義矢	上杉 徹	
	小澤 昌甲	兼田 幸子	熊谷 親啓	笹本 栄作	
	鈴木 光子	高田 裕之	高橋 秀典	原 寛	
	藤井 久子	柳本 有二	山田 浩介	山ノ井景子	
	山本 義和				

■社会福祉法人 神戸YMCA福祉会

理 事 長	井上 真二				
常務理事	小澤 昌甲				
理 事	丹家 元陽	橋本 明	吉田 昌義	植村 篤子	
監 事	馬場 一郎	山ノ井景子			
評 議 員	廣瀬 一雄	丹羽 和子	前田 隆	山口 幸	
	藤田 裕	清水嘉津子	布村 志保	柳谷 利起	
	石井 恭子	金坂 尚人			
運営委員	井出 浩	松本 正史	倉石 哲也		

■公益財団法人 神戸YMCA

理 事 長	中道 基夫				
副理事長	清水 泰人				
専務理事	井上 真二				
常勤理事	松田 道子	西田 勉			
理 事	井上 和彦	川島 恵美	進藤 啓介	山形 謙二	
	川崎 孝子				
監 事	山野 和彦	中尾 秀一			
評 議 員	鵜丹谷 剛	小栗 献	近藤 弘人	坂西 卓郎	
	鈴木 光子	塚本 潤一	坪川 武司	松本 聡子	
	渡邊 智明	岩井 義矢	古野 雅己	山根 泉	
名誉理事	宮田 満雄	武田 寿子			
学校教育事業委員	濱瀬真知子(副)	岩野 祐介	岩本 哲人	上谷 円	
	海老 直人	栗原 由香	中出 恵子	松本 聡子	
	西田 勉				

中道 基夫会長・公益財団法人理事長

(公財)日本YMCA同盟協議会 (神戸YMCA選出代議員)
 (公財)日本YMCA同盟 (理事)
 (学)御影教会学園 群華幼稚園 (評議員)
 (社福)聖和福祉会(聖和乳幼児保育センター) (理事長)
 (学)神戸平安教会学園(ランバス記念幼稚園) (理事)
 (社福)聖和共働福祉会(大阪聖和保育園) (評議員)
 (学)関西学院 (理事・評議員)
 日本基督教教会 (理事)

武田 寿子名誉理事

NPO法人スペシャルオリンピックス日本・兵庫 (理事)
 (社福)オリンピア (理事)

水野 雄二名誉主事

(学)頌栄保育学院 (理事)
 (学)星陵学園 (理事)
 (公財)PHD協会 (理事長)
 (社福)神戸聖隷福祉事業団 (理事長)
 (社福)神戸いのちの電話 (理事長)
 日本キリスト教社会事業同盟 (副理事長)
 (社福)夢工房 (評議員)

上杉 徹さん

(公財)日本YMCA同盟協議会 (神戸YMCA選出代議員)

高月 渚さん

(公財)日本YMCA同盟協議会 (神戸YMCA選出代議員)

井上 真二総主事**<日本YMCA関係>**

日本YMCA同盟協議会 (神戸YMCA選出代議員)
 全国YMCA戦略会議 (委員)
 全国YMCA公益協働事業担当者会 (担当総主事)
 日台YMCA連絡委員会 (委員)
 国内協力委員 (委員)

<地域活動関係>

兵庫県青少年団体連絡協議会 (代表理事)
 兵庫県「トライやる・ウィーク」推進協議会 (神戸YMCA代表)
 フラワーロード沿道まちづくり協議会 (副会長)
 神戸ロータリークラブ

(米山記念奨学会副委員長、青少年奉仕委員)

青少年育成全県スクラム会議 (委員)
 兵庫県福祉部社会福祉審議会 (委員)

<教育関係>

兵庫県教育委員会 (委員)
 兵庫県地域留学生交流推進会議 (委員)
 (公財)兵庫県青少年本部 (評議員)
 神戸市社会教育委員会 (委員)
 ひょうご不登校対策推進協議会 (委員)

<国際関係>

(公財)PHD協会 (評議員)
 日本国際連合協会兵庫県本部 (常任理事)
 (公財)神戸国際コミュニティセンター (理事)
 (公財)兵庫県国際交流協会 (理事)

<福祉関係>

(社福)神戸市社会福祉協議会 (評議員)
 (公財)ひょうご子どもと家庭福祉財団 (評議員)
 (社福)神戸いのちの電話 (評議員)
 (社福)光期会 (評議員)
 (社福)ひょうご障害福祉事業協会 (評議員)

小澤 昌甲主事**<日本YMCA関係>**

全国YMCA教育・保育事業部会 (副会長)

<地域活動関係>

神戸市西区善意銀行 (委員)
 生活協同組合コープこうべ (理事)
 賀川記念館コア100 (委員)
 学園東町ふれあいのまちづくり協議会 (顧問)
 学園西町ふれあいのまちづくり協議会 (顧問)
 学園都市・太山寺青少年育成協議会 (顧問)
 兵庫県立伊川谷北高等学校 (評議員)

<福祉関係>

神戸市子ども・子育て会議 (委員)
 神戸市子ども・子育て会議 教育保育部会 (委員)
 神戸市児童虐待・非行防止協議会 (委員)
 (公社)神戸市私立保育園連盟 (理事)
 (社福)神戸市西区社会福祉協議会 (監事)
 (社福)松蔭ミカエル福祉会 (理事)
 (社福)頌栄会 (監事)
 (公財)こども財団 (評議員)
 (社福)聖ミカエル福祉会 (評議員)

松田 道子主事

コープともしび財団 (理事)
 (公財)ひょうごコミュニティ財団 (評議員)
 (一財)コープこうべ奨学金財団 (理事)
 (公財)神戸学生青年センター・六甲奨学金 (運営委員)
 ひょうご市民活動協議会 (運営委員)

西田 勉主事

(社福)兵庫県社会福祉協議会 (理事)
 (社福)兵庫県共同募金会 (評議員)
 (公財)こうべ市民福祉振興協会 (理事)
 海外災害援助市民センター(CODE) (理事)

谷川 尚主事

全国YMCA発達支援事業部会 (役員)
 西宮市子ども・子育て会議 (委員)
 神戸市発達障害児(者)支援連絡協議会 (委員)
 神戸市発達の気になる子どもの支援体制検討会議 (委員)
 (社福)イエス団 (評議員)

小寺 隆志主事

全国YMCAウエルネス事業部門 (副会長)
 神戸市青少年育成協議会 (委員)
 神戸市ユース賞選考会 (委員)

藤田 良祐主事

(学法)御影教会学園群華幼稚園 (理事)

山田 浩介主事

神戸市立高倉台小学校 (評議員)
 (学法)星陵学園 (評議員)

阪田 晃一ディレクター

兵庫県キャンプ協会 (理事)
 NPO法人Leave No Trace Japan (理事)

山本 亮司ディレクター

全国YMCAウエルネス事業部門(野外/野外施設部会) (事業部長)

中道 愛子ディレクター

兵庫県ユニセフ協会 (理事)

坂本 庸秀主事

(学法)星陵学園 (監事)

三島 浩司主事

(公社)神戸市私立保育園連盟 (委員)
 兵庫キリスト教保育園協議会 (委員)

神戸YMCA活動拠点



神戸YMCA三宮会館
(本部事務局)
神戸YMCAカレッジ
(専門学校、ランゲージセンター、国際・奉仕センター)
〒650-0001
神戸市中央区加納町2-7-11
☎(078) 241-7201 (本部事務局)
☎(078) 241-7203 (神戸YMCAカレッジ)



**神戸YMCAファミリー
ウェルネスセンター**
〒651-0072
神戸市中央区脇浜町2-10-21
☎(078) 241-7202



西神戸YMCA会館
(ウェルネスセンター・学園都市、西神戸YMCA)
神戸YMCA高等学院
〒651-2102
神戸市西区学園東町2-1-3
☎(078) 793-7401
(ウェルネスセンター・学園都市)
☎(078) 793-7402 (西神戸YMCA)
☎(078) 793-7435 (神戸YMCA高等学院)



**学園都市YMCA
保育ルーム**
〒651-2102
神戸市西区学園東町2-1-3
☎(078) 794-3045



余島野外活動センター
〒761-4100
香川県小豆郡土庄町字余島
☎(0879) 62-2241
キャンピングサービスセンター
〒650-0001
神戸市中央区加納町2-7-11
☎(078) 241-7216



**西宮YMCA
西宮YMCA保育園**
〒662-0977
西宮市神楽町5-23
☎(0798) 35-5987
☎(0798) 35-5992 (保育園)



**西宮つとがわYMCA
保育園**
〒663-8233
西宮市津門川町2-14
☎(0798) 26-1016



**須磨YMCA
神戸YMCAちとせ幼稚園**
〒654-0081
神戸市須磨区高倉台4-12
☎(078) 734-0183
☎(078) 732-3542 (幼稚園)



YMCAちとせ保育ルーム
〒651-2103
神戸市西区学園西町4-1
神戸留学生会館内
☎(078) 786-3821



**西神戸YMCA
西神戸YMCA幼稚園**
〒651-2243
神戸市西区井吹吹西町4-5
☎(078) 993-1560
☎(078) 997-7705 (幼稚園)



YMCA保育園
〒651-2103
神戸市西区学園西町5-4
☎(078) 794-3901



**YMCA保育園
おひさま分園**
〒651-2103
神戸市西区学園西町7-2-1-101
☎(078) 794-4080



西神戸YMCA保育園
〒651-2103
神戸市西区学園西町1-1-2
☎(078) 792-1011



**神戸学園都市YMCA
こども園**
〒651-2102
神戸市西区学園東町2-1-3
☎(078) 791-2955



**児童発達支援事業/
放課後等デイサービス
YMCAおひさま**
〒651-2102
神戸市西区学園東町2-1-3
☎(078) 793-9077



神戸市立太山寺児童館
〒651-2103
神戸市西区学園西町5-2-3
☎(078) 794-4790
(指定管理者)



**神戸市立たかとり
児童館**
〒654-0037
神戸市須磨区行平町2-2-17
☎(078) 735-6230
(指定管理者)



**おやこふらっと
ひろば西**
〒651-2273
神戸市西区糀台5-4-1
神戸市西区役所3階
☎(078) 939-4530
(運営主体)



**こべっこあそびひろば
西神中央**
〒651-2273
神戸市西区糀台5-6-1
西区文化センター1階
☎(078) 964-5808
(指定管理者)



あかしこども広場
〒673-0891
明石市大明石町1-6-1
パピオスあかし5階
☎(078) 918-6371
(コープこうべと共同)



**ユースプラザ
KOBÉ・EAST**
〒658-0054
神戸市東灘区御影中町3-2-1
御影クラッセ4F
☎(078) 891-8222
(運営主体)



**西宮市香櫛園留守家庭
児童育成センター**
〒662-0952
西宮市中浜町3-32
☎(0798) 33-0214
(指定管理者)



**西宮市用海留守家庭
児童育成センター**
〒662-0921
西宮市用海町3-54
☎(0798) 35-1522
(指定管理者)



**西宮市浜脇留守家庭
児童育成センター**
〒662-0941
西宮市浜脇町5-48
☎(0798) 34-1444
(指定管理者)



YMCAとは

世界120の国と地域でおよそ6500万人が活動するNGO(非営利組織)です。

日本のYMCAは、全国34の「都市YMCA」と37の「学生YMCA」が、300を超える拠点で、自らの学びや健康、社会課題の解決のための様々な活動を行っています。

あらゆる年代・性別・宗教の人々と「互いを認め合い、高め合うポジティブネットのある社会を創ること」を目標としています。

神戸YMCA

〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-11